

2022年9月30日

## 「住友金属鉱山 統合報告書 2022」を発行

変革をテーマに長期ビジョン達成に向けた取り組みを解説

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：野崎 明）は、本日、「住友金属鉱山 統合報告書 2022」（日本語版）を発行しました。

2016年より7回目の発行となる本統合報告書では、2月に発表した2021中期経営計画（以下、21中計）のテーマ「変革への新たな挑戦」より、「変革」を統合報告書全体を貫くテーマとして設定し、長期ビジョンの実現に向けた「2030年のありたい姿」の取り組み、21中計による社会環境変化への対応、変革への新たな挑戦の具体的な取り組みなど、ステークホルダーの関心の高い内容を重点的に説明しています。本報告書を通じて、社内外の様々なステークホルダーの皆様に、当社グループが目指す“持続的な成長と企業価値の最大化”に向けた取り組みについて、より一層ご理解を深めていただくとともに、本報告書に対話のツールとしてお役立ていただきたいと考えています。



「住友金属鉱山 統合報告書 2022」表紙

### 【統合報告書（PDF）ダウンロード】

<https://www.smm.co.jp/ir/library/annual/>

※英語版は11月中旬発行予定

### ■ 統合報告書 2022 の主な特長

#### 1) At a Glance ページの新設

初めて当社の統合報告書をご覧いただく方にも一目で当社の概要を理解いただけるよう、冒頭に新設。

#### 2) 当社グループのビジネスモデルと価値創造を通じた社会への影響を記載

当社グループならではの価値創造を生み出す仕組みについて、価値創造プロセスの特徴を明確化することを目的に、各プロセスの詳細をより定量化。また、当社グループの事業活動が社会へ与える影響を「IMPACT」として記載。さらにビジネスモデルを図示し詳細な解説を記載。

#### 3) 2021 年中期経営計画の概要

2022 年度から始まる当社の中期経営計画の詳細な説明と到達点、事業部毎の中計への取り組み

内容の詳細を記載。トップメッセージにおいては本中計に込めた社長の思いを掲載。

4) 特集「住友金属鉱山グループのDX」

DX 推進の課題とその対応、ロードマップ、重点領域等の解説、ならびに各拠点における具体的な取り組みを紹介。

5) 「2030年のありたい姿」における重要課題の進捗と目標を明記

「2030年のありたい姿」の11の重要課題別に1年間の進捗についてKPIを含めて説明。さらに各中計における達成基準および行動計画を明記し、2030年度の目標達成への道筋を明確化。

6) サステナビリティに関わる詳細データの分冊化

掲載内容の選別を行い「ESG データブック 2022」として分冊化を昨年に続き継続。開示情報の質と量を維持しつつ読みやすさを追求。

以 上

**本件に関するお問合せ先**

住友金属鉱山株式会社 広報 IR 部 東京都港区新橋 5-11-3 新橋住友ビル

TEL : 03-3436-7705 Eメール : [smm\\_koho@smm-g.com](mailto:smm_koho@smm-g.com)